



Title	懐徳 第6号 目次
Author(s)	
Citation	懐徳. 1927, 6
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/88728">https://hdl.handle.net/11094/88728</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

懷德第六號永田理事長追悼錄

目 次

故懷德堂理事長永田仁助先生肖像	卷首
同	同
故懷德堂教授文學博士松山直藏先生肖像	遺墨
同	家庭
同	遺墨
同	家庭
永田理事長略歷	(一)
永田理事長の逝去と葬儀	(五)
松山教授略歷	(七)
松山教授の逝去と葬儀	(一〇)

## 松山教授追悼談

京都帝國大學教授 文學博士

狩野直喜 (二)

## 松山博士についての憶出

京都帝國大學教授 文學博士

桑原隣藏 (六)

## 松山博士を追憶す

京都帝國大學教授 文學博士

高瀬武次郎 (九)

## 故松山直藏君を憶ふ

前學習院教授

堀維孝 (八)

## 松山先生を憶ふ

京都帝國大學教授 理學博士

野瀬隆治 (三)

## 松山先生を懷ふ

京都帝國大學臨時教員養成所 文學士

加藤盛一 (二五)

## 松山先生を憶ひ奉りて

熊本醫科大學醫科教授

岡井慎吾 (二六)

## 松山博士を偲ぶ

京都市視學

西田利八 (三二)

## 松山先生の講演を回想して

大阪工廠長 陸軍少將

三輪時雄 (三四)

## 磐舟居士の恩出話

泊園書院

藤澤章次郎 (三七)

## 磐舟翁と春城博士

文學士

石濱純太郎 (四二)

## 故永田仁助氏を憶ふ

大阪市日本橋小學校長

吉田傳治郎 (四三)

## 故永田理事長と松山教授を憶ふ

東北帝國大學教授 文學士

武内義雄 (四五)

無題	大阪府立圖書館司書	上 松 衡 川	(吾)
故永田理事長故松山教授を憶ふ	大阪府立圖書館長 懐德堂理事 文學士	今 井 貫 一	(吾)
永田翁追憶談	大時阪事新報主筆		
松山先生と私	大阪高等學校教授 懐德堂講師 文學士	土 屋 元 作	
永田理事長と松山教授を憶ふ	懷德堂講師 文學士	財 津 愛 象	(壹)
松山先生を憶ふ	懷德堂助教授	稻 東 猛	(大)
追 憶		吉 田 銳 雄	(大)
わか友永田仁助君をおしみて	從二位勳一等 貴族院議員	町 田 匠 子	(八)
亡友永田仁助君をおもひて	同	服 部 一 三	(五)
挽歌(八首)	第三高等學校教授 文學士	(金)	
挽春博士松山君輓詞二首	黃 爻	(六)	
挽磬舟永田君二首	同	林 森 太 郎	(八)
追懷永田磬舟翁	中 井 天 生	(八)	
追懷松山博士	成 田 軍 平	(八)	
		(八)	
		(九)	

輓文學博士松山先生

懷德堂堂友會員

林田炭翁 (八)

(九)

懷德堂理事長永田仁助翁を偲びて

同

(九)

松山博士を悼みて(二首)

同 同

(九)

永田翁を悼みて

同 同

(九)

松山先生を悼みて

同 同

(九)

永田氏を悼みて

同 同

(九)

松山先生を憶ふ

同 同

(九)

憂愁疊來

同 同

(九)

永田仁助先生を憶ふ

同 同

(九)

文學博士松山直藏先生追悼記

同 同

(九)

嗚呼永田様

同 同

(九)

惜しき松山先生

同 同

(九)

永田理事長を憶ふ

同 同

(九)

松山先生を憶ふ

同 同

(九)

松山先生の大なる賜……………同

松山先生の遺訓……………同

松山先生と私……………同

松山先生を偲ぶ……………同

私の感想……………同

文學博士松山先生終焉記……………同

小松熊之助 (一一〇)

酒井全太郎 (一一一)

田中貞雄 (一一二)

小沼量平 (一一三)

山本楳信 (一一四)

(一九)

## 附 錄

故永田仁助先生述「偶感隨筆」



像肖生先助仁田永長事理堂德懷

耶馬溪山未可攀  
已日思回詩風起更蕭疏  
拏處づ狂吟する有仰望一時

弘化二年正月一日  
永田助仁先生遺墨



墨遺生先助仁田永長事理堂德懷



庭家の長事理田永故

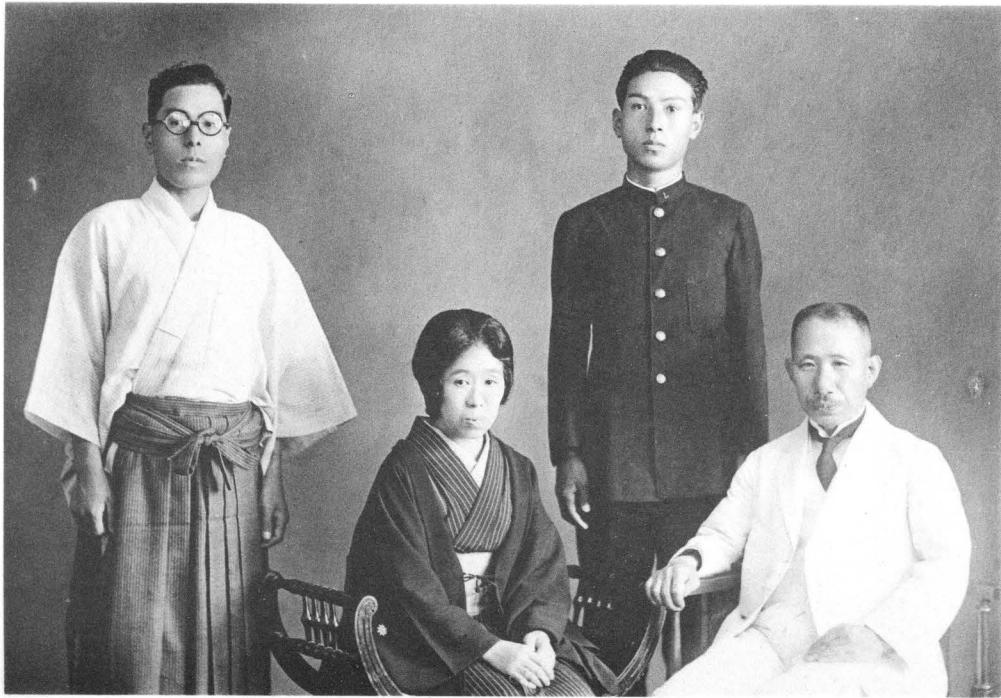


像肖生先藏直山松士博學文授教堂德懷善

蔡懷德堂先師儒諸先生文

維大正十五年十一月六日懷德堂記念會舉懷德堂創學二百周年重建十周年紀念式理事長永田仁助謹以清酌庶羞之奠敬祭懷德堂師儒諸先生之靈曰

於乎美矣懷德之堂道溯洙泗以博典常學宗濂洛  
訓士有方雨非光價危言膳芳人心以正學術以昌  
垂世相承風聲緣長牖民之績衆具仰望今茲而賓  
酌載是當重建之後閱十星霜又築書閣萬卷之藏  
息焉游焉足以滋暢予等小子敢掬餘香妖玄遺緒  
翼道益彰惟神聰明靈其翬翔敬陳心曲虔脩酒漿  
尚享



故 松山 敦授 の 家 庭